

# 同窓会報



## 鳥羽商船同窓会

〒517-8501  
三重県鳥羽市池上町1番1号  
TEL (0599) 25-8045  
FAX (0599) 25-8128  
携帯電話 090-7612-2979  
振替口座番号 00850-6-846



### ◆ 目 次 ◆

同窓会会長・学校長 挨拶……………	2	NPO法人故郷の海を愛する会の報告……	16
令和6年度 本部会務報告……………	3	学校だより……………	18
令和7年度 本部会務計画……………	4	特集 四代目 鳥羽丸……………	21
令和6年度 会計報告……………	5	特集「我等！鳥羽商船」……………	22
令和7年度 予算……………	5	事務局だより……………	24
令和7年度 同窓会役員・理事（改選）…	6	同期会・同窓会……………	24
同窓会の活動……………	6	会員の異動等……………	24
同窓会設立100周年記念事業について…	11	寄付金・同窓会費納入一覧……………	26
支部だより……………	14		

# 同窓会会長・学校長挨拶

## 三大慶事を終えて 次に思う事

同窓会会長 **菅沼 延之**  
S48N(88期)



数年前より会員各位に協力をお願いをしておりました三大慶事、即ち3月に新練習船鳥羽丸就航の御事。そして9月に執り行われました、母校創基150周年、同窓会設立100年の記念行事を全て無事終了し、完遂した安堵感があります。三大慶事の内、特に校歴を明治14年から明治8年に変更する案件は私が会長在任中に行わなくてはならない、最大の仕事であり、同窓会の中でも旧校歌の歌詞にある明治14年に拘る会員も多数いましたが最終的に学校サイドとの交渉を繰り返した結果、創立ではなく、創基にて150年とする案に落ち着くことが出来ました。私にとりましては片手落ちの感がありますが、それでも我が国で最も古い商船学校に成りましたことは会員諸氏においても胸を張ってよいことと思っております。他にも、新練習船名を公募したい旨の提案も致しましたが、時間切れで間に合う事が叶いませんでした。全て終了して振り返ってみますと、役員の方々が本当に努力尽力を連ね、私を助けてくれました事に心を込めて、感謝の意を表します。

さて、私は5期目の任期終了迄に同窓会歌の作成など、まだ残されたままの懸案事項があり、特に同窓会会則の見直しと並行して今後の同窓会の在り方をどうするのか、任期中に形にしたいと決心しております。母校には商船系と工業系の2つの流れが存在しておりますが、すでに各々から今後の同窓会の在り方につき、色々な意見を頂いておりますので、私の手で改革を断行し継続発展性のある同窓会の再構築を図ってみたいと考えております。

最後に従前に比べ、私は兄校に当たる攻玉社との関係を重視して参りました。攻玉社は中高一貫教育をもって、レベルの高い大学への進学に成果をあげておられますが振り返って、わが校は15才から20才迄、一貫して教育をできるのにも関わらず、衰退したクラブ活動、さらには国歌や校歌を口にすることが出来ない卒業式には驚きを隠せません。同窓会には教育についての権限は有りませんが、見るに忍びない現状を鑑み、参画している連携協力会や諮問委員会を通じて、色々な提案をしていこうと考えております。一大記念行事こそ終わりましたが、今一度各位にはお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。会長挨拶とさせていただきます。

## 学校長挨拶

鳥羽商船高等専門学校

25代校長 **古山 雄一**



秋冷の候、同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本校の教育研究活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本校におきましては、去る9月13日(土)に「創基150周年記念式典」および「創基150周年並びに同窓会設立100周年記念祝賀会」を無事に執り行うことができました。式典当日は、同窓生の皆様をはじめ、地域の方々や関係機関の皆様にも多数ご臨席いただき、盛会のうちに終了いたしましたことを同窓会の皆様にご報告申し上げます。

明治8年の航海測量習練所の創基以来、幾多の変遷を経て今日に至る本校の歩みを振り返りつつ、次の世代へと理工学知識を有する技術者教育の理念を継承していく決意を新たにすることができました。また150年という歳月を顧みる時、明治時代から今日に至るまでの様々な出来事を経て、現在の本校が







在ります。ここ鳥羽の地に本校が在ることは決して偶然ではなく、鳥羽の人達をはじめとして志摩半島の皆様の深いご理解と暖かいご支援の賜物です。ここに改めまして心よりの感謝と敬意を表する次第です。それと同時に我々は絶えず、地元に貢献する気持ちを持ち続けることが肝要と思っております。

さらに令和7年度の卒業式・修了式につきましては、9月19日に挙行され、商船学科学生36名の卒業式、専攻科修了生4名の修了式が行われました。式典は厳粛かつ温かな雰囲気の中で進められ、卒業生・修了生の皆さんは、それぞれの進路に向けて力強く歩を進めております。

式典終了後には、学校正門前の広場にて恒例の登壇礼が行われました。帆船等の出航時に行われる儀式である登壇礼や登舷礼にならい、「ごきげんよう」と3回叫び、制帽を高く投げ上げて、皆の将来への活躍を誓うものです。卒業生たちが帽子を高く空に投げ上げる姿は、未来への希望と決意を象徴する感動的な光景であり、見守る教職員、在校生、保護者の皆様の胸を打つ瞬間となったことと存じます。

これらの式典を通じて、改めて本校が地域社会と深く結びつきながら、技術者育成の使命を果たしていることを実感いたしました。今後も、時代の要請に応えつつ、実践的かつ創造的な教育を推進してまいります。

同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校の歩みにご注目いただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

# 本部報告

## 令和6年度 本部会務報告

### ①会議

イ) ロ) ハ) 令和6年6月9日  
於 名古屋 名鉄グランドホテル

イ) 理事会 10:20～11:45

★出席理事21名・会計監査1名  
百周年特命理事1名 委任状13名

ロ) 総会 11:50～12:20

★出席会員数84名 来賓3名

ハ) 懇親会 12:30～14:30

★出席会員数85名 来賓3名

ニ) 支部長会 未開催

ホ) 百周年記念誌制作会議

令和6年7月20日、8月3日、令和7年、3月16日  
於 名古屋

令和6年9月6日、10月24日、11月18日、12月13日、令和7年2月28日  
於 鳥羽

ヘ) 鳥羽丸竣工式・母校創基150周年・同窓会設立100周年記念事業 母校共同会議

令和6年7月2日、9月6日、11月18日、12月13日、令和7年2月28日

### ②母校関連会議・式典出席

#### 令和6年

5月23日 鳥羽商船高専連携協力会 理事会  
6月13日 鳥羽商船高専連携協力会 総会  
6月14日 鳥羽丸お別れセレモニー  
9月30日 母校創基150周年事業委員会  
10月8日 鳥羽丸進水式(岡山県玉野市)  
11月8日 鳥羽商船高専連携協力会 就職支援ゼミ

#### 令和7年

3月10日 商船ハッカソン(母校学生研究発表会)  
3月12日 母校運営諮問会議  
3月15日 鳥羽丸竣工式(母校体育館)  
鳥羽丸内覧会  
祝賀会(鳥羽国際ホテル)  
3月29日 鳥羽丸市民お披露目会

### ③会報発行

令和6年10月1日 会員約3,500名に発送

### ④事務局主要活動

4月16日 総会案内発送作業

事務局、伊勢志摩支部会員13名、学生ボラン

ティア参加 会員約3,500名に発送

### 5月11日 攻玉社同窓会総会

水野東日本支部長 出席

### 5月15日 戦没・殉職船員追悼式

水野東日本支部長 出席

### 6月9日 理事会・総会・懇親会

中部支部主催

### 6月17日 鳥羽丸離岸式 主催 同窓会

### 6月中旬～ 同窓会報発行準備着手

事務局、本部役員、伊勢志摩支部会員

### 7月～12月 故郷の海を愛する会イベント開催

詳細は16～17頁参照

### 9月22日 卒業式(本科N、E) 修了式(専攻科 海事)

菅沼会長、伊勢志摩支部理事、事務局 式参列  
於 母校体育館

同窓会の活動紹介と資格取得奨励授与式

1級海技士資格取得者3名

於 母校メディアホール

卒業祝賀会(共催)

於 潮騒会館

### 10月1日 同窓会報発送作業

事務局、伊勢志摩支部会員14名、学生ボランティア参加

### 11月30日 課外活動支援金・報奨金授与式

事務局、三井伊勢志摩支部長、伊勢志摩支部会員

### 11月30日、12月1日 母校海学祭

事務局、伊勢志摩支部会員 珈琲店出店

母校と故郷の海を愛する会の紹介活動

百周年記念資料室案内

### 令和7年2月～ 会計決算案・次年度予算案作成

事務局、会計、役員

### 2月～鳥羽総会 準備作業

事務局、伊勢志摩支部 打ち合わせ

### 3月19日 卒業式(本科J) 修了式(専攻科 生産)

菅沼会長、伊勢志摩支部理事、事務局 式参列  
於 母校体育館

卒業祝賀会(共催)と資格取得奨励授与式

応用情報技術者試験1名、TOEIC成績優秀者1名  
於 母校体育館

※同窓会の活動紹介は事前に行った

### 通年 鳥羽丸竣工式・母校創基150周年・

同窓会設立100周年記念事業における各種準備等

事務局、本部役員、支部長、伊勢志摩支部有志

## 令和7年度 本部会務計画

### 令和7年4月～令和8年3月

4月～ 百周年記念誌編集会議、校正作業

4月～ 総会案内発送準備

4月～ 決算書・予算書作成

4月～ 理事会・総会会議資料作成

4月～9月 母校創基150周年・同窓会設立100周年記念事業における各種準備等

5月～ 理事会案内 印刷準備・封入・発送

5月～ 理事会、総会、懇親会 会場進行準備

5月14日 戦没・殉職船員追悼式

6月14日 攻玉社同窓会総会出席

6月15日 理事会・総会・懇親会(母校、鳥羽国際ホテル)

6月～ 同窓会報発行準備

7月～ 練習帆船模型「あまき」パンフレット制作、修復報告冊子校正

7月～12月 故郷の海を愛する会イベント開催  
詳細は16～17頁参照

8月～ 同窓会報編集作業

9月12日 物故者慰霊祭と母校創基150周年・同窓会設立100周年のご報告

9月13日 母校創基150周年記念式典・記念講演会出席

9月13日 母校創基150周年・同窓会設立100周年記念祝賀会 共同開催

9月19日 卒業式(本科N、E)修了式(専攻科 海事)参列、同窓会の活動紹介と資格取得奨励授与式、卒業祝賀会開催

### 10月以降の活動計画

11月1日 同窓会報発行・発送作業(3,500通)

12月6日 課外活動支援金・報奨金授与

12月6日、7日 海学祭支援、同窓会の出店、紹介活動、百周年記念資料室案内

2月～ 会計決算案・次年度予算案作成

3月19日 卒業式(本科J)修了式(専攻科 生産)参列、同窓会の活動紹介と資格取得奨励授与式、卒業祝賀会開催

※その他母校関連会議出席

## 鳥羽商船同窓生限定 新鳥羽丸体験航海

同窓会主催で、卒業生限定の体験航海を実施します

**日時** 令和8年2月14日(土) 10時集合 10時30分出航 15時帰港 **集合場所** 母校鳥羽商船高専



**募集人数**: 先着50名 **参加費**: 1万円(昼食代込) ※荒天の場合は船内見学と昼食会のみ(参加費: 5千円)

**申し込み**: 左のQRコードを読み込み、フォームからお申し込みください **申込期限**: 12月20日(土)

**お問合せ**: info@tobashousen-dousoukai.com **電話**: 090-7612-2979(事務局 火・金 10時～15時)

## 令和6年度 会計報告

自 令和6年4月1日 ～ 至 令和7年3月31日

### 現金・預金

※比較増減＝期末－期首

勘定科目	期首金額	収 入	支 出	期末金額	比較増減
現金	0			0	0
普通預金計	2,360,470	13,507,510	13,174,226	2,693,754	333,284
定期預金計	16,424,420	279	0	16,424,699	279
現金・預金合計	18,784,890	13,507,789	13,174,226	19,118,453	333,563

※収入支出の金額は振替入出金の金額が含まれており実際の入出金金額より大きい金額になっています。

### 収入の部

※比較増減＝決算金額－予算

科目・内訳	6年度予算	決算金額	比較増減
会 費	2,200,000	1,721,000	-479,000
終身会費	800,000	960,000	160,000
寄付金収入	4,037,000	3,168,400	-868,600
スポンサー広告収入	180,000	180,000	0
百周年記念誌広告	0	500,000	500,000
雑収入	720,000	827,800	107,800
受取利息	100	589	489
預金の取り崩し	0	0	0
収入合計	7,937,100	7,357,789	-579,311

### 支出の部

科目・内訳	6年度予算	決算金額	比較増減
母校支援費 前年度まで【負担金】 から科目名変更	1,000,000	1,002,000	2,000
総会費	1,780,000	1,632,414	-147,586
会報・会員名簿	1,160,000	992,795	-167,205
対外活動費	214,000	194,000	-20,000
支部活動費	572,000	586,500	14,500
旅費交通費	550,000	473,420	-76,580
事務消耗品費	331,100	279,847	-51,253
会議費	20,000	17,500	-2,500
会務運営費	800,000	603,171	-196,829
外部委託費	690,000	690,000	0
予備費	700,000	465,280	-234,720
雑支出	20,000	15,531	-4,469
郵貯センター 払込手数料	100,000	71,768	-28,232
支出合計	7,937,100	7,024,226	-912,874

### 監査報告

令和6年度期首、期末の銀行等残高の確認を行い、収支に関しては領収書、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

令和7年5月23日

会計監査 竹川 俊幸

木下 勝



## 令和7年度 予算

自 令和7年4月1日 ～ 至 令和8年3月31日

### 収入の部

比較増減＝令和7年度予算－前年実績

科目・内訳	6年度実績	7年度予算	増減比較
会費	1,721,000	2,200,000	479,000
終身会費	960,000	1,000,000	40,000
寄付金収入	3,168,400	3,824,000	655,600
スポンサー広告収入	180,000	180,000	0
百周年記念誌広告	500,000	1,200,000	700,000
雑収入	827,800	760,000	-67,800
受取利息	589	600	11
預金取り崩し	0	0	0
収入合計	7,357,789	9,164,600	1,806,811

### 支出の部

科目・内訳	6年度実績	7年度予算	増減比較
母校支援費	1,002,000	1,000,000	-2,000
総会費	1,632,414	1,915,000	282,586
会報・会員名簿	992,795	1,100,000	107,205
対外活動費	194,000	211,000	17,000
支部活動費	586,500	587,000	500
旅費交通費	473,420	550,000	76,580
事務消耗品費	279,847	331,600	51,753
会議費	17,500	20,000	2,500
会務運営費	603,171	570,000	-33,171
外部委託費	690,000	660,000	-30,000
予備費	465,280	2,100,000	1,634,720
雑支出	15,531	20,000	4,469
郵貯センター 払込手数料	71,768	100,000	28,232
支出合計	7,024,226	9,164,600	2,140,374



## 令和7年度 同窓会役員・理事（改選）

※ 黄色は新任 ※ 灰色は退任 ※ ( )内数は前回数

### 本部

会長	1	菅沼 延之	S48N	特別顧問 (3)	3	古山 雄一	学校長
副会長 (3)		田中 潔	S52N			江崎 修央	副校長
		加塚 伸吾	S52E			喜井 健二	事務部長
	4	<span style="background-color: yellow;">塩野 明俊</span>	<span style="background-color: yellow;">S56E</span>	事務局長	1	江崎 隆夫	S44E
		江崎 修央	H4M			武部 二三男	S38N
		菅原 昌男	S33N			溝井 昇	S42E
相談役 (3)	3	藤本 昌之	S42N	事務局 (11)		三井 健次	S43E
		習田 誠至	S55N			濱地 安実	S47E
		<span style="background-color: yellow;">濱地 安実</span>	<span style="background-color: yellow;">S47E</span>			山口 伸輔	S48N
会計 (1)	1	<span style="background-color: yellow;">中井 一文</span>	<span style="background-color: yellow;">H16I</span>			木下 勝	S49E
会計補佐	1	<span style="background-color: yellow;">山口 雄大</span>	<span style="background-color: yellow;">H20M</span>			丸島 慶久	S50E
会計監査 (2)	2	竹川 俊幸	S42E			畑 辰幸	S51N
		木下 勝	S49E			高木 宏明	S52E
		落合 弘明	元同窓会長			今西 広樹	S52E
名誉顧問 (3)	3	菱田 司	元同窓会長			北端 大志	H8N
		田中 三郎	前同窓会長			山野 武彦	H10E
						<span style="background-color: yellow;">山口 康太</span>	<span style="background-color: yellow;">H23E</span>
						谷水 聖奈	H27N
				学校連絡 (2)	2		

### 支部（理事総数49名）

東日本支部 11(11)				伊勢志摩支部 15(15)				
支部長	水野 博之	S48N		支部長	三井 健次	S43E		
理 事	岩田 仁	S38E		理 事	溝井 昇	S42E		
	加藤 信一	S42E			江崎 隆夫	S44E		
	大橋 泰夫	S48N			濱地 安実	S47E		
	奥田 宣夫	S48E			山口 伸輔	S48N		
	菅原 秀樹	S51N			畑 辰幸	S51N		
	稲益 義久	S51N			高木 宏明	S52E		
	内藤 文司	S51N			塩野 明俊	S56E		
	小林 康広	S51N			齋心 俊憲	H1N		
	星野 芳昭	S52E			出江 幸重	H3M		
	長澤 山泰	S57E			江崎 修央	H4M		
鈴鹿 文彦	S63N		北端 大志	H8N				
中部支部 6(6)				橋本 典久	H8E			
支部長	山口 淳	S61N		山野 武彦	H10E			
理 事	小林 正司	S43N		中井 一文	H16I			
	宗接万太郎	S48N		山口 雄大	H20M			
	菅沼 延之	S48N		関西支部 8(8)				
	加塚 伸吾	S52E		支部長	坂田 守	S56N		
山川 博之	S53N		理 事	村木 国夫	S48N			
四日市支部 6(6)				田中 潔	S52N			
支部長	伊藤 英樹	H4E			村田 佳久	S55N		
	待井 健司	H2N			國安 政幸	S58N		
理 事	西村 謙治	S59E			山本 和之	S59N		
	西井 育央	S61E			清家 将之	S60N		
	待井 健司	H2N		福田 美和	H7N			
	伊藤 英樹	H4E		西日本支部 2(2)				
相良 球一	H6N		支部長	中野 正義	S41N			
西村 崇	H6I		理 事	神子 功	S48E			
百周年特命理事 1(1)								
理 事	大倉 明人	S48N						

## 同窓会の活動（暦順に掲載）

同窓会の活動は抜粋してご紹介しています。事務局では、日々の活動を同窓会HPに掲載しています。その他の写真や記事も是非ご覧ください。  
tobacmtdousoukai.sakura.ne.jp



### 令和6年度

#### 卒業式（本科N、E）修了式（専攻科 海事）挙行

令和6年9月20日（金）、母校体育館に於いて商船学科航海コース18名、機関コース13名の卒業式、及び専攻科海事システム学専攻3名の修了式が挙行されました。

進路は進学5名、陸上職2名、海上職27名でした。近年は教官方の熱意にこたえて、学生たちも海技試験に積極的に取り組み好成績を収め、商船学科の面目躍如です。

会長挨拶では、世界へ羽ばたく勇氣と気持ちをもって社会へ大きく旅立ってくださいとの激励の言葉を述べられました。



卒業式前は恒例の同窓会紹介プレゼンテーションと資格取得奨励授与式が行われました。今年のプレゼンテーションは、母校教官でもあり同窓の山口康太先生から卒業後は後輩のために同窓会活動への参加と協力をお願い、そして進路相談などにも連絡いただければ積極的に協力するので身近な存在であることを伝えました。そして、菅沼会長から一級海技士資格を取得した3名に奨励金が授与されました。

卒業生の皆様 元気にがんばってください。



コロナ禍中止を余儀なくされた祝賀会が復活し、卒業生と多くの保護者、教職員の皆さん、同窓会伊勢志摩支部の同窓生が参加しました。

母校江崎修央副校長の挨拶、同窓会菅沼会長の挨拶、卒業生代表の挨拶、奨学後援会塚本会長の乾杯の挨拶で宴が始まり、最後は三井伊勢志摩支部長のバンザイで締められ若人たちは船出しました。



## 同窓会報 発送作業

令和6年10月1日(火)、同窓会員約3,435名に同窓会報を発送しました。伊勢志摩支部有志8名の協力の元、封入から発送作業を行い、会員の皆様に届けられました。



## 四代目鳥羽丸 命名・進水式

令和6年10月8日(火)、鳥羽の日に岡山県玉野市の三菱マリンタイムシステムズ株式会社に建造中の母校新練習船『鳥羽丸』の命名、進水式が執り行われました。

商船5校の練習船建造と母校係留棧橋の新替えに多大のご尽力を頂いた自民党文部科学部会の赤池誠章参議院議員と鈴木英敬衆議院議員はじめ国会議員の先生方は国会開催中の為、残念ながら欠席されましたが祝電をいただきました。

同窓会から菅沼会長他4名が招待され、文科省、高専機構様他関係者の皆様と共に式をお祝いしました。

進水式は船台から滑り降りる式を想像していましたがすでに岸壁に係留されていました。

式は船名が隠された紅白の幕を上げると同時に鳥羽丸の文字が現れ、次に船体に吊られたシャンパンの瓶を母校5年生商



船学科NコースとEコースの女子2人がシャンパンの紐をおので切り、瓶が割れると同時に舳先のくす玉が割れ花火が上がり係留策が放され離岸しました。

母校商船学科5年生全員が授業の一環で進水式に参列していました。彼等は来年春の鳥羽丸竣工後の鳥羽丸実習はできずに9月の卒業まで学外実習なので進水式の思い出は一生残ると思います。

新鳥羽丸は旧鳥羽丸より相当大きく感じました。JRや近鉄で鳥羽を訪れる人たちは車窓から見える鳥羽丸の大きな存在感に驚きそうです。

## 課外活動支援金、報奨金 授与式

令和6年11月30日(土)、海学祭初日に今年活躍された学生達に課外活動支援金と報奨金、そして学生会、寮生会に同窓会と伊勢志摩支部から支援金の授与式を執り行ない、卒業後は後輩や母校の為に同窓会費の納入をお願いしました。

同窓会では、在校生の課外活動に対し費用の一部を支援するほか、試合やコンテスト等で顕著な成績を残した場合には報奨金を授与しています。

今後も学生の皆さんのサポートをしていきたいと思っています。



## 第59回 海学祭

令和6年11月30日(土)・12月1日(日)、両日共好天に恵まれ、在校生の家族、母校に興味ある子供達、一般市民等多数の人が見学に訪れました。

同窓会は今年も本物のコーヒーを提供する“Old Boy Cafe”を百周年記念館1階に開店し、来店者に百周年記念資料室の案内や故郷の海を愛する会の活動案内をしました。S43Eの小松さんが提供したボトルシップの人気もあり、来店者は230名を超え、経費を除いた残金を同窓会に寄付いたしました。



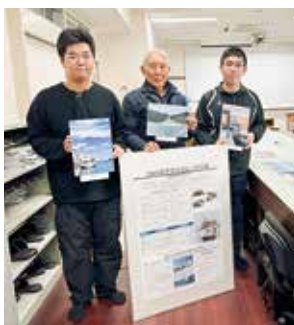




海学祭に合わせて東京からS31E卒の渡邊賢一さんが御家族と一緒に来校され、同窓の皆様と楽しく懇談され同窓会に志もいただきました。

今年は資料館の来訪者も例年より多く、同窓会員が資料の説明に活躍できました。母校創基150年、同窓会設立100年、新鳥羽丸の就航と3大慶事がある事をお知らせしました。

皆さん、第60回海学祭には鳥羽にお越しください。学生達と共にお待ちしております。



元勤務先へ就職する後輩と  
記念撮影



## 新鳥羽丸(4代目鳥羽丸) 登場 回航

令和7年3月13日(木)朝、待望の鳥羽丸が母校に到着しました。回航の初航海には造船所関係者と齊心船長以下乗組員以外に、母校と造船所の計らいで学生の乗船希望者と母校教官が乗船し、同窓会からは菅沼会長が乗船しました。

3月12日朝、岡山県玉野市の三菱重工マリタイムシステムズ(株)を出航し、紀伊水道を通過、3月13日朝9時に母校新ポンツーンに無事着岸いたしました。

新鳥羽丸は、総トン数397トン、長さ56.3mと先代鳥羽丸より一回りも、二回りも大きく、習熟運転を重ね慣れる



まで苦勞すると思います。

着岸後、同窓会主催で讃岐金刀比羅宮鳥羽分社の宮司さんにより航海安全を祈念する入魂式が執り行われ、古山校長、齊心船長、山野機関長、菅沼会長他関係者一同が参加いたしました。

この鳥羽丸で次々と新しい学生たちが巣立っていくことと思います。



## 新練習船鳥羽丸竣工記念式典、内覧会、祝賀会開催

令和7年3月15日(土)、春特有の気まぐれの荒れた天気の日でしたが鳥羽丸竣工記念式典、内覧会、祝賀会が開催されました。

式典は母校体育館で開かれ、古山校長あいさつの後、来賓の文部科学大臣政務官金城泰邦衆議院議員、赤池まさあき参議院議員、鈴木英敬衆議院議員、の挨拶が行われました。

赤池まさあき参議院議員は商船高専5校練習船の老朽化による、代替え船の予算申請と獲得にあたり、6年前から全船協酒迎さん、広重さん、当同窓会菅沼会長、5校学校関係者、中村鳥羽市長らと共に文科省、財務省へ出向き、多大のご尽力をいただきました。

又鈴木英敬衆議院議員は鳥羽丸の大型化により狭小になったポンツーンに災害支援機能を備えたポンツーンの大型化新替えにご尽力をいただきました。

赤池まさあき参議院議員、鈴木英敬衆議院議員、高専機構、学校関係者の皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。



内覧会は雨風がひどくなりましたが、テープカットが行われた後、式典参加者の鳥羽丸内覧会が行われました。

内覧会終了後鳥羽国際ホテルに於いて竣工記念祝賀会が開催され120人余りのご出席を賜りました。

祝賀会では、鏡割りの後古山校長、三菱重工業三木部長、菅沼会長、赤池まさあき参議院議員、山本さちこ参議院議員、中村鳥羽市長、高専機構谷口理事長の祝辞をいただきました。



皆様のご挨拶は一樣に明治8年創基の鳥羽商船の伝統と明治6大教育家の一人に数えられる近藤真琴翁の業績を称え、お祝いの言葉をいただきました。

最後は母校和泉允前校長のお礼の言葉と母校商船科、情報科への激励の言葉をいただきました。



## 令和6年度卒業式(本科J) 修了式(専攻科 生産) 挙行

令和7年3月19日(水)、春らしく暖かくなった好天の日、本科情報機械システム工学科(71名)卒業式、専攻科生産システム学専攻(10名)修了式が挙行されました。

本年も求人者数は昨年度越えて抜群の人気でした。進路は、本科生は進学13名、就職58名、専攻科生は留学生が母国に帰ることを除き全員が就職となりました。

古山雄一校長、菅沼延之同窓会長、中村鳥羽市長が激励の言葉を手向けました。

また同窓会共催の祝賀会では、卒業生と多くの保護者、教職員の皆さん、同窓会伊勢志摩支部の同窓生が楽しい時間を過ごし、難関資格を取得した卒業生に資格取得奨励金の授与を行いました。

これからの皆様の活躍を期待しています。



## 令和7年度 総会案内発送

令和7年4月15日(火)、住所登録のある3,518名の会員に総会案内を発送いたしました。

今年度は、昨年10月の郵便料金引き上げに伴い、従来のA4封筒からA4三つ折り長3封筒へ移行しました。

## 令和7年度 理事会・総会・懇親会開催

令和7年6月15日(日)、同窓会理事会、総会が母校メディアホール、懇親会は鳥羽国際ホテルで開催されました。

当日は梅雨の前日までの雨がピタリと止み好天に恵まれました。

メディアホール入り口に修復された練習船あまきの模型が展示され、母校への寄贈式(引き渡し式)を総会で執り行いました。今後百周年記念資料室に保管されます。

理事会は48名中出席28名、委任が13名理事の半

数以上で理事会は成立しました。上程された協議事項はすべて承認され新会長に菅沼延之(S48N)氏が会長に再選されました。

会長挨拶の初めは前日の攻玉社同窓会の感想と共に、攻玉社同窓会も本日の当総会参加者の平均年齢は軽く60歳を超え、参加者の数も同じくらいで同窓会の運営に若い人たちの参加を如何に促すべきか、同窓会費の納入を如何に多くの人に収めてもらうかが共通の課題であったようです。又菅沼会長は自分の再選が承認されたならこの2年の任期の間に会則の見直しを含めまず役員で検討委員会を設け、理事会全体で同窓会の改革を図りたいと述べました。



古山校長は公務の為あいにくの欠席ですが、来賓に赤池まさあき参議院議員、小竹篤鳥羽市長のお二人が出席され、祝辞をいただきました。赤池参議院議員は今回の鳥羽丸建造にあたり多大なご尽力をいただきました。参議院の文教族として商船教育の弱体化に陥りそうになった場面他過去の苦難を乗り越えたお話から今回の5商船高専練習船の建造に至るまでの経緯を述べられました。これからは国会で大いに活躍していただくためには、我々鳥羽商船同窓会も菅沼会長以下同窓会員も可能な限り応援するとの声を上げました。小竹市長は近年の少子化の中で鳥羽商船の人気度をお伝えするとともに、練習船鳥羽丸の災害支援船の役目と重要性を鳥羽市と母校で絆を深めていくとの誓いを述べられました。

江崎副校長から母校の現状が報告され、今春の入学定員は情報機械システム工学科定員100名、商船学科40名の定員を満たすことができました。情報系は今年、高度情報エンジニア育成のため20名の定員増をいたしました。少子化の中で県立高校の競争倍率1倍を切る高校がほとんどの中、本校はすべて定員を確保し、特に商船学科は近年では最高の1.6倍の高倍率でした。新練習船鳥羽丸を用いてスマートシップの研究を行う商船系と情報系がコラボした研究の立ち上げの準備もしていますと報告されました。

支部報告では東日本支部が毎年5月に横浜港カッターレース大会に参加していますが漕ぎ手が高齢化しているので若い人の募集を強く求めています。全支部とも理事の高齢化が顕著です。会長は2年の任期の間に未来につながる同窓会の在り方を検証し、会則の見直しを含めた同窓会改革の意欲を何度

も声を大にして伝えました。

懇親会は65名の同窓生、来賓に赤池参議院議員、三重4区の鈴木英敬衆議院秘書の角田太陽さん、同窓でもある廣耕太郎三重県議会議員、野村保夫三重県議会議員が出席し、祝辞をいただきました。

乾杯の挨拶は平成7年制御情報工学科卒の小阪圭一さんが音頭を取りました。

小阪さんは鳥羽丸建造から乗船回航のDVD制作に携わっています。

アトラクションでは鳥羽丸の齋心船長がDVDを見ながら鳥羽丸船内設備を説明しました。

最後は岡山から昨年鳥羽に移住された昭和35年機関科卒の加藤和彦さんが挨拶を行い、中締めに関西支部長の坂田守さんが来年の総会は神戸か大阪で開催するとの報告と一丁締めで会を終了しました。



小阪圭一氏



加藤和彦氏



坂田関西支部長



### 練習船「あまき」模型修復完成の記者発表

令和7年7月10日(木)、練習船「あまき」模型の記者発表を開催し、読売新聞、中日新聞、鳥羽市広報で紹介されました。

練習船「あまき」模型は、3年前から同窓会設立100周年記念事業の一つとして修復を取り組んでおり、6月9日に完了、15日の同窓会総会において母校に返還、寄贈されました。

### 同窓会物故者慰霊祭、母校創基150周年、同窓会設立100周年の祭祀挙行

令和7年9月12日(金)、母校近藤真琴翁記念碑前に於いて祭祀が挙行され、金刀比羅宮鳥羽分社富田宮司の元、祝詞を奏上



いたしました。

式には古山校長以下副校長、事務部長、菅沼会長以下同窓会から役員理事、伊勢志摩支部会員など26名ほどの参加でした。今後50年、100年と母校、同窓会が続く事を祈念します。

### 母校創基150周年記念式典・記念講演会挙行

令和7年9月13日曇り空の中、鳥羽市営体育館サブアリーナに於いて、母校創基150周年記念式典と記念講演会が開催されました。



古山校長挨拶

当日式典の参加者230名あまりと来賓に鈴木英敬衆議院議員、山本さちこ参議院議員、一見勝之三重県知事、小竹篤鳥羽市長の心のこもったご祝辞と高専機構谷口理事長の謝辞をいただきました。又、式後の記念講演会には鈴木英敬議員の奥様で元アーティストックスイミング(旧名シンクロナイズドスイミング)のアトランタ、シドニー、アテネの3度の五輪メダルに輝いた武田美保さんの熱のこもった講演が参加者の感動を誘いました。サブアリーナの会場入り口には同窓会が修復した大正時代の母校練習船あまきが展示され、皆様に披露されました。



武田美保さん講演

### 母校創基150周年・同窓会設立100周年記念祝賀会 母校と共催で挙行

詳細は11～13頁参照。





# 同窓会設立100周年記念事業について

以下、3つの記念事業を行います。

- 1) 練習帆船模型「あまき」修復
- 2) 百周年記念誌発行
- 3) 鳥羽商船高専創基150周年・  
同窓会設立100周年記念祝賀会 共同開催

令和7年9月13日 土曜日  
鳥羽国際ホテル

同窓生の皆様に同窓会報にて“練習帆船模型「あまき」修復”プロジェクトについてご紹介してきましたが、今年令和7年6月初旬についに完成し、同窓会総会にて母校への返還式を執り行いました。

「あまき」修復完了のご報告と百周年記念誌の制作進捗について各委員長よりご紹介させていただきます。

また、記念式典は令和7年9月13日に母校主催で行われ、式典会場は“鳥羽市民体育館 サブアリーナ”、祝賀会は母校と同窓会が共催し“鳥羽国際ホテル”にて行いました。

## 1) 練習帆船模型「あまき」修復

練習帆船模型「あまき」修復プロジェクトリーダー  
竹内 大助 (S44E)

昨年10月の同窓会報に中間報告をしましたが、その後、ロープを張り、キャプスタンなどを作り載せ6月9日、遂に学校に搬入、15日の同窓会総会にて同窓諸氏に披露しました。



### 1. 糸（ロープ）張りの実際は手作り

帆船模型は根強い人気があり各種販売されていますが、その製品は全て1/100以下の縮尺です。

例えば帆船日本丸（全長110m）を1/100の模型にすると長さ1.1m程になり、場所を取るからです。

よって模型専門店で購入できるパーツもこの1/100が最大です。ところが、この「あまき」の模型は1/32なので3倍大きく、滑車や錨などのパーツが市販品にはないのです。残っているものは磨いて使い、無ければ手作りになります。単滑車は80個程製作しました。

### 2. 動索（操作するロープ、麻などの繊維の薄茶色）

動索は殆どがファイブレル（マスト下にある井桁状格子）やピンレル（舷側の長い穴付き板）に刺したビレーピンに留めます。（8の字に3回以上巻き付ける）余りはコイルダウンしてからピンに掛けておく（コイルアップ）のが帆船のルールです（次の操作が判り易い、これぞ、シーマンシップ!）。

### 3. 帆（セイル）と操舵室

下左の写真のフォアマストの下から2枚の帆には高さ中央にヒョロヒョロと20本ほどの糸（リーフライン）がぶら下がっています。これは風の強さに応じて帆の面積を減らしたい場合に帆布を巻き上げてヤードに縛り付ける為のロープです。



帆船の操舵箇所は一般に船尾マストの後ろに設置されます。本模型では船尾マストのすぐ前にしましたがメインマストセールを目視の為に天井はなし、布によるオーニングは可能としました。

#### 4. 木製架台と本模型の移動搬入

修復中、この模型の移動は末端部が損傷し易いと心配していました。その対策として、高価な桧の一枚板を入手し持ち易くしました。その後、百周年記念館のショーケースに入れることになり、見下ろす形となるので架台に袴を設けました。その頃、小松氏がレーザー彫刻機を購入、そのお陰で奇麗で立派な体裁に出来ました。



「あまき」を我家から出す日は江崎事務局長が大型バンで来てくれたのですが、天井高さを測ると5cm不足です。袴を付けた事が裏目に出ました。

うーむ、しかし、2本のマストトップ8cmを差し込み式にしてあったのでそれを抜くと、ぎりぎり積み込む事が出来ました。総会の後の7月10日、修復関係者が集いました。左から三井健次 (S43E)、小松隆幸 (S43E)、伊藤名誉教授、村井邦彦 (H2E) 各氏で右端が竹内です。長谷川真佐雄氏 (S44E) は所用で来られず残念でした。老人の中に若い人が一人いますが、この村井氏は5年生だった平成元年に廃棄寸前のボロ模型を実験室に避難させた「あまき」の恩人なのです。蘇った事を知り駆けつけてくれました。

こうして、無事に寄贈納入が出来たのは3年間、何かと助けてくれた関係諸氏とその家族のお陰であり改めて感謝申し上げます。

思えば108歳の「あまき」は、その強い存在感で70歳台の若造達に様々な葛藤や連帯を要求してきました。それに従った我々は多くの思い出を残す事が出来ました。後輩がこれを見て、何かでも意気に感じてくれれば嬉しく思います。

ありがとう、永遠の「あまき」。

完

#### 参考文献

1. 「帆船模型製作技法」白井一信著 (株)復刊ドットコム
2. 「木造船とその艀装」橋本徳寿著 海文堂 (天然社)
3. 「帆船日本丸、海王丸を知る」海技教育機構編著成山堂

#### 練習帆船模型「あまき」修復プロジェクト経過報告

- ・令和6年10月発行同窓会報にて中間報告
- ・同窓会HPに掲載

令和5年12月12日(火) その3  
令和5年2月21日(火) その2  
令和4年11月29日(火) 初回



## 2) 百周年記念誌発刊

百周年記念誌編集長

副会長 加塚 伸吾 (S52E)

#### 百周年記念誌の発刊にむけて

令和7年に迎える母校創基150周年、同窓会設立100周年において、同窓会設立100周年事業の一環として取り組んでいます百周年記念誌の発刊にむけての進捗状況を報告します。

すでに寄稿していただいた同窓生の思い出・体験等、各支部からの支部の歩みを内容確認、校正したものを印刷会社へ入稿し、その内容を確認しているところです。

また同窓会として過去行ってきた事業、個別事業として行ってきた「故郷の海を愛する会」の過去の取り組み状況を取り纏めているところです。

その他、掲載写真として練習帆船「あまき」をはじめ、過去に活躍した歴代練習船、この3月竣工した新鳥羽丸の雄姿の写真、現在の母校の写真含めて編集しているところです。

なおこの百周年記念誌の発刊費用を捻出するために、平成30年同窓会名簿発刊での同窓生関係の広告協賛を今回も募り、その結果として27社団体から162万円の申し込みがありました。あらためて、この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

今後、9月13日に挙行される母校創基150周年式典並びに同窓会設立100周年記念祝賀会の開催状況も掲載予定としており、その内容含めて編集して年内12月末までには発刊する予定で取り組んでいきます。



### 3) 母校創基150周年・同窓会設立100周年記念祝賀会母校と共催で挙行

9月13日のサブアリーナの式典後、鳥羽国際ホテルに於いて母校と同窓会共催の祝賀会が開催されました。

参加者は同窓会員40名あまりを含む、教職員、関係企業の皆様など150名が出席しました。古山校長の歓迎挨拶に始まり、攻玉社学園の境理事長からご祝辞、鳥羽商船高専連携協力会の菊川会長の乾杯のご発声で宴が始まりました。アトラクションには女性ばかりの弦楽四重奏団が華を添えました。

鳥羽国際ホテルのおいしい料理を食しながらの楽しい懇談の最後は菅沼会長が皆様とお世話になった赤池前参議院議員、和泉前校長、境理事長、そして古山校長にお礼の謝辞を述べ、宴を終了いたしました。



菅沼会長 挨拶



古山校長 歓迎挨拶



攻玉社学園 境理事長 ご祝辞



鳥羽商船高専連携協力会 菊川会長  
乾杯挨拶



弦楽四重奏団演奏



練習船鳥羽丸回航記録上映





# 支部だより

## 東日本支部 支部長 水野 博之 (S48N)

皆様には、いつも東日本支部の活動にご支援・ご協力いただき誠に有難うございます。昨年6月からこの7月までの一年間にわたる東日本支部活動について、下記のとおり項目ごとに報告させていただきます。

### 本部総会開催

昨年11月23日、横浜ナビオスで支部総会を開催しました。当初20名の出席予定でしたが、当日になり仕事等の関係で2名が欠席され、最終的に18名の出席でした。コロナ前には30名近くの出席者で行っていましたが、若干さびしい感はありましたが、出席の皆さんは大いに語り、笑い和やかな集いとなり、主催者としては喜ばしいかぎりでした。本部からは田中副会長に出席いただき本校の様子などお話し、昔の在学当時とはあまりの違いに隔世に感を感じました。また、同窓会としても微力ながら今後の本校に発展に寄与できるようにとの思いを新たにいたしました。今年の支部総会は11月22日ナビオス横浜開催となります。10月初めに正式にご案内しますが、皆様のご出席をお待ちいたします。



### 横浜港カッターレース

今年5月25日に開催予定でしたが、あいにくの悪天候で中止となってしまいました。昨年は2艇申し込み1艇は抽選もれとなり、1艇のみの参加となったため、今回は大会の協賛団体となり協賛金も支出し3艇枠を確保しました。しかし、漕ぎ手確保に苦勞し何とか2艇出場の体制を整えました。結果的には、悪天候のため、練習・本番ともに中止となってしまいました。カッターレースの担当として頑張っていたいただいた鈴鹿理事には、御礼と賛辞を送りたいと思います。まことにお疲れ様でした。今後の継続的な出場を目指し、漕ぎ手の確保を中心に同窓会をあげて取りくみ団結の要の行事として、支部にとどまらず全同窓会に波及するよう尽力してまいります。

### その他活動

攻玉社同窓会の総会は今年、本校同窓会の前日の6月14日に東京グランドホテルで開催されました。菅沼会長と私が参加致しました。攻玉社出身の日本初めての宇宙飛行士秋山豊寛さんがセミナーを行われ、当時の舞台裏について、また、なるべくして宇宙飛行士になったなどの大変興味深い内容でした、その後の懇親会では大いに兄弟校としての親睦を図ってまいりました。

最後に今年5月14日に横須賀で執り行われた戦没・殉職船員追悼式に参列しました。例年ながら海上自衛隊音楽隊の厳かな演奏の中、献花が行われ、また観世流の能楽が古式豊かに奉納されるなど、殉職船員の方に想いを新たにす式典でした。

追伸：7月14日に理事会を開催し、総会内容、今後のカッターレースの取り組み、新規行事について検討しました。カッターレースについては早い段階から漕ぎ手を募集し、一般の漕艇場での練習会を開催する、また新しい行事として、攻玉社見学ツアー、親睦ゴルフコンペなどに取り組むこととなりました。皆様には都度ご案内いたしますので、ご参加のほどお願いします。

## 中部支部 支部長 山口 淳 (S61N)

中部支部の令和6年度の活動については下記の通りです。毎年恒例のゴルフコンペや支部総会・懇親会は開催いたしました。残念ながら特記すべき事項はありません。令和7年8月3日開催の四日市港カッターレースへ今年こそは出場したかったのですが、参加できる者が少なくやむなく断念いたしました。中部支部においては懇親会等の出席者の顔ぶれに変化が無い上に年々参加者が減少しています。同窓会設立100周年を迎えるにあたり、今後10年20年と同窓会が存続する為にも抜本的な対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。

### 令和6年度活動報告

5月18日 第51回名鳥会ゴルフコンペ 11名参加  
於：三鈴カントリー倶楽部

優勝者 石濱 健 (S63N)

準優勝 北地 幸二 (S54N)

第3位 山口 淳 (S61N)

6月9日 中部支部総会・本部総会 同日開催

於：名鉄グランドホテル 49名参加

10月5日 「故郷の海を愛する会」 来名時飲料の差し入れ

11月8日 練習船日本丸 名古屋港寄港時 飲料の差し入れ

12月7日 第52回名鳥会ゴルフコンペ 15名参加  
於：三鈴カントリー倶楽部

優勝者 北地 幸二 (S54N)

準優勝 浅野 清 (S55N)

第3位 町 裕次 (S52N)

令和7年2月14日 第7回めいよう会(全船協・若葉会・海洋会 合同懇親会)へ参加

全船協12名参加(内鳥羽10名) 海洋会14名参加  
若葉会7名参加

注：若葉会＝保安大学校OB 海洋会＝旧商船大OB

3月15日 練習船銀河丸 名古屋港寄港時 飲料差し入れ

## 四日市支部 支部長 伊藤 英樹 (H4E)

令和6年度の四日市支部活動についてご報告いたします。

令和7年2月28日(金)に「ビアダイニング グリルステーション」において四日市支部役員会を開催、6月28日(土)には「サラリーマン割烹 栄太郎」において、19名の同窓諸兄ご出席のもと四日市支部総会を開催いたしました。

総会では、議題の令和6年度会務会計報告、支部役員会の改選、令和7年度支部活動計画について、満場一致でご承認をいただき、その後終始和やかに歓談し、一同楽しい時間を過ごすことができました。

特に今回は、工業系学科の同窓にもご出席をいただき、四日市支部として嬉しい総会となりました。

ご出席をいただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。



ますとともに、来年度以降の支部総会にもご出席をいただきますようお願い申し上げます。

総会における支部役員の改選結果を次のとおりご報告させていただき、支部報告を終わらせていただきます。

＜令和7年度支部役員＞ ※下線は新任

【顧問】片山 勝則(S33N) 室 博也(S55N)

【支部長】伊藤 英樹(H4E)

【副支部長】西井 育央(S61E) 待井 健司(H2N)

西村 崇(H6I)

【理事】石垣 三郎(S37N) 谷水 一隆(S56N)

西村 譲治(S59E) 笠松 伴(S60N)

相良 球一(H6N) 岡山 雄一(H11E)

犬飼 和孝(H13N) 熊谷 剣儀(R3N)

## 伊勢志摩支部 支部長 三井 健次 (S43E)

### 令和6年度活動報告

1. 6月9日(日) 同窓会定期総会出席  
中部支部担当により名鉄グランドホテルにおいて多数の同窓生と来賓の参加を得て盛大に総会が開催され、伊勢志摩支部理事数名が参加した。
2. 6月14日(金) 三代目鳥羽丸 退役セレモニー出席
3. 6月17日(月) 三代目鳥羽丸 離岸式出席
4. 9月20日(金) 商船学科卒業式に理事数名が出席
5. NPO法人故郷の海を愛する会が主催する「アサギマダラを呼ぶプロジェクト」への協力。春からフジバカマをプランターで育苗し開花後記念館前に移動、来蝶を待ったが気候変動の為に確認できなかった。
6. 同窓会設立100周年記念事業として帆船模型「あまき」修復作業に協力した。
7. 同期会開催奨励金制度 年間1組の同期会が利用した。
8. 11月30日・12月1日 海学祭へ出店  
例年通り百周年記念館談話室で珈琲店“Old Boy Cafe”を、村田さん(S43E)協力のもと開店した。来店された多くの方々を百周年記念資料室に案内し展示の説明をした。原価を差し引いた売上金は同窓会への寄付金とした。

### 令和7年度活動計画

1. 6月15日(日) 同窓会定期総会・理事会出席  
母校で開催
2. 同窓会懇親会若手参加奨励金として¥200,000を計上
3. 母校創基150周年・同窓会設立100周年記念事業  
9月12・13日(金・土) 参加協力する。
4. 卒業式出席  
卒業生同窓会会費納入促進プレゼンを行う。
5. NPO法人故郷の海を愛する会への協力  
「アサギマダラを呼ぶプロジェクト」今年度もフジバカマを10個のプランターに株分け育成し記念館前に設置する、予算¥20,000とする。
6. 同窓会設立100周年記念事業、帆船模型「あまき」修復作業に協力する。
7. 同期会開催奨励金制度は年間5組  
支給額¥20,000・総計¥100,000で継続する。
8. 12月6・7日(土・日) 海学祭への協力  
学校への助成金¥50,000を計上した。模擬店協力として、珈琲店“Old Boy Cafe”を出店し、来校いただいた保護者や地域の方々に百周年記念資料室の案内説明を行う。

## 関西支部 支部長 坂田 守 (S56N)

令和7年2月24日(月) 12:00から、神戸楠公会館において支部総会、懇親会を開催しました。新型コロナ収束以降は昨年に続き2回目の開催となりました。

同窓会本部の活動予定を下記のとおり報告し、満場一致で承認されました。

### 同窓会本部の活動

令和7年3月15日(土) 新練習船鳥羽丸竣工記念式典

令和7年6月15日(日) 鳥羽商船同窓会本部総会・

理事会開催 於:鳥羽

令和7年9月13日(土) 鳥羽商船創基150周年・

同窓会設立100周年記念式典開催

同窓会100周年誌寄稿 支部からの推薦

森本 秀司(S58N) 川村 陽一(S56E)

谷水 孝之(H16N) 竹内 大祐(H30E)

懇親会は、坂田関西支部長(S56N)あいさつの後、出席者のスピーチ、商船歌の熱唱と続き、久々の旧友との会話を楽しんでいただきました。

来年は本部総会を関西で開催する予定となっており、現在、関西大阪万国博覧会で大阪港界隈は賑わっておりますが、それも一段落すると思われますので、万博後地を見渡せる場所で開催できないか、開催場所の選定について検討を始めております。

## 西日本支部 支部長 中野 正義 (S41N)

至って広域ではありながら、支部会員数が小規模なのが当支部の特徴ではありますが、本年度の活動実績と次年度の活動計画を次の通り報告致します。

### 実績

令和6年1月26日

支部新年会(福岡天神・セッション/7名)

令和6年6月9日

本部総会が名古屋にて開催(中野支部長、神子理事出席)

令和6年10月27日、28日

西日本支部総会(下関・海峡ビューしものせき)

本部より加塚副会長が参加。又、令和卒の女性やパイロットを卒業された方等、初参加3名の総勢16名で開催。

令和7年3月1日

支部新年会(福岡天神・セッション/7名)

令和7年3月15日

新鳥羽丸竣工式(神子理事出席)

令和7年6月8日

支部理事会 博多駅(中野支部長、神子理事)

令和7年6月15日

本部総会 鳥羽商船(神子理事出席)

### 計画

今年は、新鳥羽丸竣工、母校創期150年、同窓会設立100周年と、慶事が重なっています。今年も10月18日(土)に西日本支部総会を開催します。支部総会も多くの会員に参加を呼び掛けて、慶事を祝いたいと考えております。我々事務局は勿論ですが、毎年参加頂いている諸先輩・皆様方々も、霧笛が聞こえる“下関海峡ビューホテル”での支部総会・懇親会を待ち望んでおられることと思います。会報と一緒に案内状を同封する予定です。

理事 神子 功(S48E)

## NPO法人 故郷の海を愛する会

会長 塩野 明俊 (S56E)

2009年に鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部の有志数名が、地域の子供たちに世界につながる船や海を知ってもらおうと任意団体「故郷の海を愛する会」を立ち上げました。4年後にはもっと活動の輪を広げようと「NPO法人 故郷の海を愛する会」を設立し、現在に至っています。

私たちの活動の対象は当初から主に小学5・6年生と中学生です。子供たちが学校で貿易や運輸（海運）を学び我々の活動に興味を持ち、この会の活動がそれに応えることができるようになれば目的が達成されることになります。

## 2024年度 事業報告

### ◇事業名「海から始まる物語 IN 2024」

2024年度は練習船鳥羽丸リプレースの為、毎年実施している鳥羽丸体験航海ができず、四日市港停泊中の鉱石運搬船の船内見学、伊勢三河湾水先区水先人会の業務説明やシミュレータ体験などを新しく取り入れました。

#### イベント① 2024年7月30日(火)実施 JMU津事業所見学と四日市港ポートビルの見学

JMU津事業所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感しました。四日市港ポートビルで四日市港の歴史と働きを学ぶとともに、港内巡視船「ゆりかもめ」で体験乗船を行いました。



撮影：植木 龍哉 R3卒

参加者 鳥羽組：26名 津組：29名（バス2台）

#### イベント② 2024年8月8日(木)実施 四日市港停泊中の鉱石運搬船と 電力館テラ46・LNG基地見学

四日市港停泊中の協同海運株式会社の鉱石運搬船「いせみらい」の船内を見学しました。バスで移動してJERAのLNG基地を見学し、隣接する電力館テラ46の施設で色々体験しました。



撮影：森田 真永 SN4

参加者 鳥羽組：25名 津組：27名（バス2台）

#### イベント③ 2024年10月5日(土)実施 伊勢三河湾水先区水先人会の シミュレータ体験と名古屋港の見学

伊勢三河湾水先区水先人会が実際に使用する訓練用操船シミュレータを体験、パイロットの業務内容を水先人（パイロット）より学びました。名古屋港ポートビルで港湾の働きや役割を遊んで学び、南極観測船ふじの船内見学をしながら南極観測の歴史を学びました。

参加者 鳥羽組：7名 津組：21名（バス1台）

#### イベント④ 2024年12月9日(月)実施 遊んで学ぼう！商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、操船シミュレータや大型エンジンの発停を体験しました。チャレンジコーナーではコンピューターやロボットについて講座を受講・体験しました。

参加者 25名

### ◇収支報告

2024年度は日本中小型造船工業会、日本船主協会、日本海事広報協会、全日本海員組合、山縣記念財団から助成金を頂きました。寄付金として鳥羽商船同窓会、同窓会伊勢志摩支部、会員の皆さまから頂きました。これらの助成金、寄付金を基に年4回のイベントを無事開催することができました。ご支援くださいました皆様様に心より感謝申し上げます。

2024年度事業収支を下記の通り報告いたします。

(千円未満四捨五入)

収 入	金 額	支 出	金 額
受取会費	97,000	事業費	1,791,000
事業収益	159,000	管理費	430,000
受取寄付	539,000		
受取助成金	1,520,000		
合 計	2,315,000	合 計	2,221,000
		当期正味財産増減額	94,000
		前期繰越正味財産額	146,000
		次期繰越正味財産額	240,000



## 2025年度 事業計画

3回のイベントを計画し、リプレースした鳥羽丸の見学・体験航海を軸に鳥羽商船高専をアピールしていきたいと思っています。募集定員はコロナ禍以前と同程度に戻し、沢山の子供たちに船・海に興味を持ってもらえるよう計画しました。

### イベント① 7月30日(水)

#### 鳥羽商船高専の練習船で体験航海とJMU津事業所の見学

鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。新造船内を見学し、最新鋭の設備・構造・機関等の解説を受け、ロープワーク等を体験する。また、JMU津事業所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。

募集参加者 80名 (バス2台)

### イベント② 8月6日(水)

#### 鳥羽商船高専の練習船で体験航海とJMU津事業所の見学

内容はイベント①同様。

募集参加者 80名 (バス2台)

### イベント③ 12月14日(日)

#### 遊んで学ぼう！商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船や大型エンジンの発停を体験する。他にコンピューターやロボットについて講座を受講・体験する。

募集参加者 50名

## 終わりに

2024年度のイベントでは鳥羽丸の体験航海が鳥羽丸リプレースのため実施できず、四日市港停泊中の鉾石運搬船の船内見学、伊勢三河湾水先区水先人会のシミュレータ体験といった新しいコンテンツを加えました。参加者アンケートを見ると「船の大きさにびっくりした」「いろいろな体験ができてよかった」「鉾石運搬船の船内設備に興味があった」等、船に関する知識が広まり大きな成果を得られたことと確信しています。バスでの移動中も船に関するQ&A、紙芝居などを通して知識を深めてもらおうというアイデアは子供たちに好評であったと考えます。

全てのイベントが無事終了したことは主催者にとって何よりです。鳥羽市を出て四日市港、名古屋港へとバス移動時間が長く色々とお気をもみました。費

用を考えると鳥羽市近辺でイベントを開催するのがいいのですが、内容としては大きな船を実際に見ることが一番です。また、パイロットから実際の業務を聞くのは大変有意義だと感じました。四日市港、名古屋港などで行うイベントについては時間的余裕をもってじっくり体験、見学を行う方向で、これからも子供達に夢と希望を与える企画を考えてゆきたいと思います。

2025年度は新造船の練習船が就航しますので新鳥羽丸に重点を置いたイベントを実施して参加者の応募状況、感想などを今後のイベントの参考にしたいと考えています。

## 会員募集中

### 「船や海の魅力を子供たちに伝えたい」

船乗りとして七つの海を駆け巡ったおじさんたちの想いから故郷の海を愛する会は生まれました。

鳥羽の商船学校（現在の鳥羽商船高等専門学校）を卒業し、貨物船やタンカー、客船など様々な船で海技士として働きながら見てきた広い世界を子供達に広め、乗船体験や造船所見学を始めとする多様なイベントは、夏休みを中心に2024年度までの16年間で58回開催され、延べ3,062人の小中学生が参加しました。海運の道を志すようになったという子供たちの声も届き始めました。

この活動をこれからも継続してゆくため、私たちの活動に賛同し協力してくださる方を募集中です。ボランティアスタッフとしての参加、活動資金の援助やご寄付をお待ちしております。会のブログをぜひご覧ください。

会員種別	年会費	内 容
正会員	1,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>この法人の目的に賛同して入会し、運営に参加する個人または団体</li> <li>総会での議決権あり</li> </ul>
賛助会員	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>この法人の目的に賛同して入会し、運営に参加する個人または団体</li> <li>総会での議決権なし</li> </ul>
会費・ご寄付		
振 込 先: ゆうちょ銀行 鳥羽支店 当 座: 00830-9-183524 口座名称(漢字): 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会 口座名称(カナ): トクヒフルサトノウミヲアイスルカイ		



活動ブログ  
<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>



団体情報  
<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>

# 学校だより



年間行事やコンテスト受賞紹介は抜粋してご紹介しています。その他の行事やコンテスト詳細は、学校HPからご覧いただけます。

## 年間行事 (暦順に掲載)

### 第53回商船学科卒業証書授与式並びに 第17回専攻科(海事システム学専攻) 修了証書授与式を挙

令和6年9月20日(金)、第53回商船学科卒業証書授与式および第17回専攻科(海事システム学専攻)修了証書授与式を挙

行しました。校長を代理して江崎修央副校長が商船学科卒業生31名に卒業証書を、専攻科(海事システム学専攻)修了生3名に修了証書と学位記をひとりひとりに手渡したあと、鳥羽商船高専を巣立つ卒業生と修了生に向けて激励の言葉を述べました。



### 第2回情報機械システム工学科 卒業証書授与式並びに 第19回専攻科(生産システム工学専攻) 修了証書授与式を挙

行しました。令和7年3月19日(水)、第2回情報機械システム工学科卒業証書および第19回専攻科(生産システム工学専攻)修了証書授与式を挙

行しました。今回の式では、古山雄一校長が情報機械システム工学科卒業生71名に卒業証書を、専攻科(生産システム工学専攻)修了生10名に修了証・学位記を手渡したあと、本校を巣立つ卒業生と修了生に向けて言葉を述べました。



## 練習船「鳥羽丸」四代目の 竣工記念行事を挙

行しました。令和7年3月15日(土)、練習船「鳥羽丸」竣工記念行事を挙行しました。記念行事には、金城泰邦文部科学大臣政務官、鈴木英敬衆議院議員、赤池誠章参議院議員、山本さちこ参議院議員、中村欣一郎鳥羽市長をはじめ多くの来賓の方々にご出席いただきました。また、谷口功国立高等専門学校機構理事長を含む関係者約170名が参加しました。



## 令和7年度入学式を挙

行し、令和7年4月4日(金)、令和7年度入学式を挙行し、入学生、保護者、在校生代表および本校教職員が参加しました。

今年度は、本科の商船学科41名、情報機械システム工学科総合工学コース60名・高度情報工学コース40名、専攻科生産システム工学専攻9名が入学し、留学生3名が本校情報機械システム工学科3年次に編入しました。

古山雄一校長は合計153名の学生の入学・編入を許可することを述べたあと、「入学おめでとう。我が国の未来を担う人材として、日本の社会と産業界から大きな期待が皆さんに寄せられています。実践的な工学の知識と技術を身に付けて、創造力、協調性、リーダーシップを備えた逞しい人間に育ててほしいと願っています。そして、『他人の個性を認め、尊重する』人になり、他人を思いやる優しい人になってください」と入学生に向けて激励の言葉を贈りました。





## 各種コンテスト

### 高専プログラミングコンテスト2024 において最優秀賞を受賞

令和6年10月19日(土)および20日(日)、奈良県奈良市なら100年会館で開催された第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト課題部門に出場した情報機械システム工学科江崎研究室に所属する4年生白川琥大さんと松葉勇希さん、3年生北仲悠人さんと山下温斗さん、そして1年生鮎川颯さんのチームが最優秀賞、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞ならびに電子情報通信学会若手奨励賞を受賞しました。



### DCON2025 経済産業大臣賞と企業賞 (アクセスネット賞・三菱電機エンジニアリング賞・ ビズリーチ賞)を受賞

令和7年5月9日(金)および10日(土)、渋谷ヒカリエホールにおいて行われた第6回高等専門学校ディープラーニングコンテスト2025 (DCON2025) 本選において、情報機械システム工学科に所属する学生チームezaki-labが経済産業大臣賞および企業賞(アクセスネット賞・三菱電機エンジニアリング賞・ビズリーチ賞)を受賞しました。



## 地域活動・地域貢献

### 神島小中学校が鳥羽商船高専で 一日体験

令和7年5月22日(木)、本校は「一日高専体験」を実施し、神島小中学校の児童・生徒6名が参加しました。

三重県鳥羽市は、伊勢湾に面した自然豊かな立地を活用し、独自の海洋教育カリキュラムを実施しています。今回の一日高専体験は、神島小中学校からの要望を受けて実現したもので、神島から普段見ることのできる大型船の役割やそれを支える技術者のことを直接知ってもらうことを目的に実施されました。



## 教職員人事

### 採用

一般教育科准教授	島 大吾
鳥羽丸一等航海士	山本 一真
鳥羽丸一等機関士	中村慎太郎

### 転入

学生課長	松浦 克行
総務課企画・地域連携係長	尾廣 浩司
学生課教務係長	西田健一郎

### 退職

商船学科嘱託教授	片岡 高志
商船学科嘱託教授	伊藤 友仁
情報機械システム工学科教授	坂牧 孝規
商船学科嘱託准教授	大野 伸良

## 同窓生の本校教職員

齊心 俊憲 (H1N)	鳥羽丸船長
山野 武彦 (H10E)	鳥羽丸機関長
山口 康太 (H23E)	商船学科准教授
谷水 聖奈 (H27N)	商船学科助教
出江 幸重 (H3M)	情報機械システム工学科教授
江崎 修央 (H4M)	情報機械システム工学科教授
中井 一文 (H16I)	情報機械システム工学科准教授
竹内 晃輔 (H7I)	学生課専門職員
濱口 沙織 (H17I)	テクノセンター技術専門員
谷水 志帆 (H16N)	テクノセンター技術専門職員
吉岡 裕也 (H16E)	テクノセンター技術専門職員
山口 雄大 (H20M)	テクノセンター技術専門職員
井田 雄人 (H22M)	テクノセンター技術専門職員
中北 創太 (R3I)	テクノセンター技術職員

## 海学祭へのお誘い

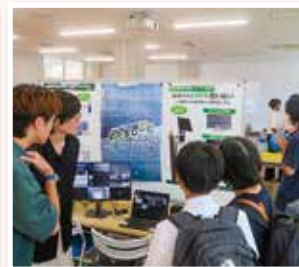
懐かしい学び舎に、今も変わらない海の香り。しかし、その景色は少しずつ、新しい時代へと移り変わっています。今の鳥羽商船は、時代に合わせた熱気と活気に満ちた場所です。

来たる令和7年12月6日(土)・7日(日)(両日とも一般公開)には、学生たちの創造力と情熱が詰まった海学祭が開催されます。模擬店や展示、ステージ発表など、今の学生たちが築き上げた新しい鳥羽商船の姿を、ぜひその目で確かめてみませんか。当時の友人や先生方との再会も、楽しみの一つになるかもしれません。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

卒業生の皆さん

## オープンキャンパスで未来を覗いてみませんか？

来年、令和8年8月頃と10月頃には、オープンキャンパスを予定しています。当時の先生方や、新しく着任した先生方との交流の場にもなるかもしれません。また、夏頃には公開講座も開催されます。小学生や中学生のお子様をお持ちの皆様、お子様の将来を考えるきっかけとして、ぜひご家族で参加をご検討ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



## 令和8年度 入学試験の方法

### 高度情報エンジニア育成特別選抜

**検査日** 令和7年11月1日～2日

試験内容:面接・作文

出願資格:中学校第2学年と第3学年1学期における国語、数学、英語、社会、理科の評定(5段階評価)の総計が40以上、かつ9教科において評定が3以上であること。情報機械システム工学科高度情報工学コースのみ。

### 体験学習選抜

**検査日** 令和8年1月10日

試験内容:体験学習・感想文・面接

出願資格:中学校第2学年と第3学年における9教科の評定が全教科5段階評価で3以上であること。商船学科のみ。

### 推薦選抜 **検査日** 令和8年1月11日

特別推薦

試験内容:面接のみ

出願資格:中学校第2学年と第3学年における9教科の評定の総計が5段階評価で72以上、かつ全教科において評定が3以上であること。

一般推薦

試験内容:面接・作文

出願資格:中学校第2学年と第3学年における9教科の評定の総計が5段階評価で62以上、かつ全教科において評定が3以上であること。

### 学力検査選抜

**検査日** 令和8年2月8日

試験内容:5教科学力試験(マークシート方式)

出願資格:三重県の県立高校と併願が可能で、「最寄り地受験制度」を利用して全国各地で受験可能。



海学祭 12/6・7(土・日)両日 同窓会 今年も百周年記念館にて珈琲店出店します

## Old Boy Cafe

美味しい珈琲と  
同窓生との再会  
今と昔が交わる場

百周年記念館資料室の見学案内(今年修復された「あまき模型」も登場)  
同窓会オリジナルグッズの販売など  
是非お立ち寄りください

昨年度看板:小松隆幸(S43E)作(看板の掲示内容は昨年のもので、今年は計画中です)







# 四代目 鳥羽丸

## 練習船「鳥羽丸（4代目）」の就航

鳥羽丸船長 齊心 俊憲  
航海学科 平成元年104期（18期）

練習船鳥羽丸（4代目）は、三菱重工マリタイムシステムズ株式会社の玉野本社工場で建造され、令和7年3月14日に本校に引き渡されました。

商船系高専各校の練習船はシリーズ化（船体構造及び全長・幅・深さが同じ）され、大島商船高等専門学校の「大島丸（4代目）」・弓削商船高等専門学校の「弓削丸（4代目）」に続く、3番船として建造されました。

鳥羽丸は、受注した三菱重工マリタイムシステムズ株式会社から提案のあった以下の3つの技術コンセプトで建造されています。

### ①SMART-Ship

～最先端の賢い船でスマートな教育を～

練習船初となる自律運航システム（仮想離着岸・自動停船・遠隔操船）及び船陸間通信システムなど。

### ②TRUST-Ship

～海事教育に頼れる船で信頼関係の構築を～

垂直船首形状の採用及びアンチローリングタンクの搭載による船体動揺の減少など。

### ③FRIEND-Ship

～親しみやすい船で海と人の友好な関係を～

災害支援による社会・地域への貢献を行える配置・設備を構築。海事思想の普及のための、魅力ある船の建造。

シリーズ化された船体に新たな装備を搭載することは困難でしたが、「海洋水産システム協会」及び「三菱重工マリタイムシステムズ株式会社」の方々にご尽力いただき、実現することが出来ました。

基本的には、「鳥羽丸（3代目）」における30年間の船員教育及び運航実績をもとに造船所の持つ最新技術を導入することで、次世代の船員教育にふさわしい練習船を目指しました。

船橋は実習海域を考慮し、「鳥羽丸（2代目）（3代目）」と同様に全閉式の船橋を採用しています。操舵室は、立位（実習時）と着座（調査研究時）に対応した、大型の情報統合型コンソールを採用しました。機関室は工作室を設けることで、より実践的な整備実習が可能となっています。

教育・研究設備として、練習船初となる「自律運航システム」及び「校舎地区からの遠隔操船及び遠隔操作（各清水タンク間の移送）」機能を有しています。

災害支援では、国土強靱化基本計画に則った支援機能を有した練習船とするため、三重県・鳥羽市・伊勢市・志摩市の防災担当者と協議を行い、近隣地域より求められる支援機能を搭載しています。

「鳥羽丸」建造では、可能な限り現場や工場に立ち会い、建造に携わる方々に直接話を聞くことを心掛けました。その中で感じたことは、建造に携わった方々の「良いものをつくるという思い」でした。

このことは、次世代の船員となる学生に語り継いでいきたいと思っています。





特集

## 「我等! 鳥羽商船」

### 鳥羽丸(4代目)を訪船して思う事

下川 公一

昭和34年航海科(76期)卒

2025年6月のある朝、いつも通りPCを開くと、FBに「練習船鳥羽丸」との表示、新造船鳥羽丸が神戸入港後一般公開する案内記事! 歳でしょうか? 行ってみたいなあ~との思いに!

私はS31年、親の猛烈な反対を押し切って信州を離れ入学、一年生の進徳丸短期実習で右手親指先端を切断、国家試験の為、第一関節保存手術、再手術を繰り返しましたが、この間、愚かな罪深い私の為に、教官、航海訓練所の皆様に多大なご迷惑をおかけし、ご心配、ご指導を戴きました事、心からお詫びと感謝を申し上げたいと思います。お陰様で、無事国家試験合格、4年程航海士生活のち陸上に転職、現在に至っておりますので、「たつ丸」という焼玉エンジンの練習船しか知らない私、時代の変化発展が全く分からず、まるで浦島太郎の心境で、興味津々、妻と6月25日PM訪船、60数年ぶりの母校の練習船に懐かしさとその素晴らしさに、ビックリさせられる事になりました!!

鳥羽丸に向かって岸壁を歩いていくと、若く澁瀬とした女性に声を掛けられ、「鳥羽丸へどうぞ」って案内をされ、女子学生さんだとビックリ。そう言えば女性の船長が話題になって久しいなあ~と感慨ひとしお。当時は男ばかりの時代でしたから。



鳥羽丸に乗船し、男子学生さんに案内され、男女別の寝室、トイレ、浴室、教室、機関室と充実した内部に驚き、その上ブリッジでは齊心船長と山野機関長からご説明して戴き感謝でした。最新の航海計器やレーダー、電子海図、昔のブリッジとは大違い、舵輪もなく、自動化された機器に驚くことばかり、その上、当直椅子が用意されており、当直中座ることなど考えられなかった私達でしたから時代だなあと。

いろいろお聞きし、お話ししたかったのですが... 下船し岸壁に降りると向かいの岸壁に「練習船大成丸」が着岸しており、昔、大成丸で豪州のブリスベンに遠洋航海した記憶が、懐かしくよみがえってきました。東京竹芝桟橋から出港し、一路豪州へ! 田辺稷首席三等航海士(後に日本丸、海王丸の建造に携わられ、航海訓練所長になられました。)と楽しく冗談言いつつペンキ塗りをしたり、水爆実験の余波でガイガーカウンターで放射能検査をしつつ航海当直、太陽、月、星を相手に六分儀片手に苦闘したり、満天の星空と鏡のような赤道無風帯の海を航海中、首席2等航海士のピアノ弾き語りで歌われた「城ヶ島の雨」は忘れられません。赤道通過時刻当てクイズや赤道祭りを楽しんだり、サンゴ礁の海を航海し、美しい川をさかのぼってブリスベンへ着岸した感激、潮の干満の差が激しく、朝になったら桟橋が上の方にあたり、街では戦後10年、ニューギニア戦線で負傷、日本人を憎む人達と戦争の時は子供だったと私達を庇ってくれる人達が争いを始めたり、街を歩いていると車を停めて、ゴールドコーストへドライブ、自宅や教会に連れて行ってくれたり、色々な事があり、帰りの航海は荒天に遭遇し、素晴らしい遠洋航海訓練を体験した記憶とともに、懐かしさがよみがえってきました。

顧みれば、鳥羽商船で培われた素晴らしい訓練、勉強、精神、経験がどれ程価値あるものであったか、今更ながら悟らされております。特に寮の玄関にあった「至誠一貫 率先敢闘 和親一致 責任完遂」は今でも心に大切に握っており、これからも変わることのない、大切な教えと信じております。

嫌な思いやご迷惑をお掛けしてきた皆様、こんな愚かな鼻持ちならない罪深い私をお許してください。

皆様のご健康、ますますのご活躍、お幸せを心からお祈りしております。

罪深き私を、悔い改めに導いて下さった神の愛に感謝し、最後に聖書の御言葉をお送りします。

「いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」

コリント人への手紙第一 13章13節





## 時を越えて空から見つめた母校 ～レンズ越しの鳥羽丸～

小阪 圭一

平成7年制御情報工学科(3期)卒

母校創基150周年、同窓会設立100周年という二つの大きな節目を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

母校を支え、伝統を築いてこられた先輩方、教官方に、深く敬意を表します。多くのご高名な卒業生の皆様がいらっしゃる中、私のような者がこの記念号への寄稿の機会を頂けたことは、大変光栄であり、恐縮の念に堪えません。ささやかながら、母校への感謝と、私自身と「鳥羽丸」をめぐる記憶を綴らせていただきます。

在学中、私は写真部に入り、写真に熱中していました。毎日カメラを手に、仲間の笑顔、教室の窓から見える鳥羽丸、海と空が交じる水平線など、一枚一枚、夢中でシャッターを切っていました。

特に思い出深いのは、暗室で過ごした時間です。フィルムを現像し、印画紙に焼き付ける作業に没頭する日々、赤いセーフティーライトの下で像がじわじわと浮かび上がるその瞬間の高揚感は、今でも鮮明な記憶として残っています。

5年生の夏、3代目の「鳥羽丸」が竣工し、私は式典の撮影をさせていただきました。新たな船を迎



える厳かな空気、船体に反射する光と海の色。その瞬間をファインダー越しにとらえる。この経験は、写真を単なる趣味だけではなく「伝える手段」として意識する転機になったと思います。

「海学祭」では、写真部5年間の集大成として個展を開かせて頂きました。テーマを決め、撮りためた作品の中から自選し、展示を作り上げる作業は、自分の写真観を見つめ直す貴重な時間となりました。もちろん2代目、そして3代目「鳥羽丸」の写真も展示をしました。

卒業後は、写真・映像の道に進み、現在は、Beacon（ビーコン）という映像制作会社を立ち上げております。人と人を繋ぐ接点子になれるような存在になりたいと想いを込め、社名を名付けました。仕事の多くは海外で、アジア、欧州、北米と世界各地を回り、異文化理解を深めながら映像制作に向き合ってきました。企業・製品のプロモーション、ドキュメンタリーなど、様々な映像を制作しており、10年前からはドローンを活用した空撮、特に海上撮影も積極的に取り組んでいます。

学生時代に写真を通じて培った「その一瞬を見つ



める力」が、今、自分が大切にしている「伝える」と「伝わる」ことの大切さの礎になっていると感じています。

また、一般社団法人三重県ドローン協会の代表として、ドローンの安全な運用と、操縦者の育成、防災・災害支援など、地域に根ざし活動も行っており、テクノロジーが社会に役立つことの意義を実感しています。

そして今年、私は特別なご縁に恵まれました。

4代目「鳥羽丸」の造船所（岡山市玉野市）から学校（池の浦）までの回航記録、そして鳥羽丸の空撮をさせていただく事になりました。

空撮当日、池の浦の空を高く舞うドローンのレンズが捉えたのは、真っ白な船体と鮮やかなブルーのファンネルを持つ「鳥羽丸」。伊勢湾へと向かって進むその姿は、未来へ向かう若者たちの夢を乗せて進んでいく勇壮な姿でした。

私は、学生時代に2代目、3代目、そして30年の時を経て4代目「鳥羽丸」をカメラのレンズを通して見つめ合う事ができました。鳥羽商船の学生だった自分が、今は映像という新たな手段で、母校と再びつながっている。それは、時を超えた不思議な巡り合わせであり、何よりの喜びです。

母校創基150年・同窓会設立100周年という重みの中で、私の歩みは、ほんの短い点に過ぎないかもしれませんが、あの暗室で過ごした時間、フィルムに焼き付けた仲間の笑顔、鳥羽丸を記録した瞬間、それらすべてが今の自分を形づくってくれたことは間違いありません。

鳥羽丸が新しい世代の夢を乗せて、力強く、航海を続けていかれることを願っております。

末筆ながら、同窓会のさらなる発展と、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



## 事務局だより

平素は同窓会活動にご協力ありがとうございます。

今年は9月になっても猛暑が続き、亜熱帯気候地域かと思われる日本列島です。同窓の皆様方におかれましてもお体、充分ご自愛くださるようお願い申し上げます。

今年の母校創基150周年、同窓会設立100周年記念事業の実施にあたり、母校並びに同窓会に多額のご寄付をいただいた同窓の皆様に誠に感謝申し上げます。

鳥羽丸関係の行事は令和6年10月8日岡山県玉野市に於いて進水式が行われ同窓会から5名が参加し、又令和7年3月15日の鳥羽で行われた竣工祝賀会では、役員と伊勢志摩支部会員20名あまりが参加し、いち早く鳥羽丸の勇姿を見ることができました。又地域の非常時の災害救助船の役目も担う本船を鳥羽市民にも見学会を開催いたしました。

令和7年6月15日の鳥羽での総会、懇親会においては、同窓生64名の出席の中、齋心船長が造船所から鳥羽への回航映像を背景に、4代目鳥羽丸の勇姿を紹介し、皆感嘆の声を上げていました。

母校創基150年、同窓会設立100年の式典（出席者230名）、祝賀会（出席者150名）は令和7年9月13日無事開催、終了し、同窓会伊勢志摩支部の会員が主で作業した大正時代の母校練習船あまきの模型も完全修復し、皆様にご覧いただきました。ご協力ありがとうございました。

今年の総会挨拶で会長が述べた同窓会の会則変更を含めた同窓会改革の検討会を10月からスタートします。

同窓会の将来を見据えた改革委員会を立ち上げ、検討を進めていく所存です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会の主要な記事は同窓会ホームページ事務局からのお知らせで都度詳しくアップされているので、ホームページもご覧ください。

総会会場は各支部の活性化の為、鳥羽、東京、名古屋、大阪の4か所での回り持ち開催となっていますがコロナ禍と大阪万博で近年はイレギュラー開催になっています。来年は大阪開催となりました。来年大阪で会いましょう。

事務局長 江崎 隆夫 (S44E) 記

## 同期会・同窓会

同期会・同窓会・クラブOBOG会の様子をご紹介します。ご投稿いただいた記事は同窓会HP「会員の投稿」でご覧いただけます。



### 高専5期 古希同窓会

令和7年9月26日(金)



上段左から 奥、加塚、池村、中村、高橋、漁野、徳田、坪井、藤本、中村、丸山  
中段 竹内、立田、河本、千道、畑、内藤、光崎(小野寺)、浅井  
下段 稲益、尾崎、安藤、上村、岩見、菅原、増瀬、小笠原、三輪  
林 俊克さん仕事都合で遅延につき集合写真なし

記:徳田 清司(S51N卒)

### 高専入学1期生 同窓会

令和7年10月5日(日)



上段左から 小林、橋本、矢野、小出、石川、深川、伊庭野、中村  
2段目 山田、長谷川、高井、奥村、河添  
3段目 大川、宮川、富岡  
下段 田中孝、下野、高松、濱地、藤本、山本

記:山本 忠志(S47N卒)



# 船歌集「想いの鳥羽商船」同窓会HPで視聴できます

同窓会へ3千円以上ご寄付いただいた方に謝礼としてお送りしています



同窓会HPでバナーをクリックして  
頂きますと案内ページが開きます



サンプル映像を  
同窓会HPに  
公開しています。  
是非ご覧ください。



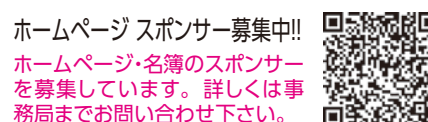
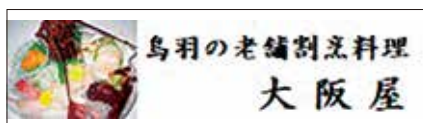
来年の同窓会総会・懇親会は

令和8年 6月14日 日曜日

アートホテル大阪ベイタワーに於いて開催します



## スポンサー広告ご協賛企業



学生募集  
の  
PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同窓会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター・学校案内冊子・学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 **鳥羽商船高等専門学校**

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404

ホームページアドレス <https://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mail [gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp](mailto:gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp)

◎書類請求(無料)は本校の学生課入試・支援係へ

同窓会事務局へのお問い合わせ、ご連絡、各お申し込みはメールにて承ります



[info@tobashousen-dousoukai.com](mailto:info@tobashousen-dousoukai.com)

